

山形県立東桜学館高等学校 令和3年度経営計画

基本理念 「高い志」「創造的知性」「豊かな人間性」

教育目標

- 1 地域社会及び国際社会の発展に貢献しようとする高い志を育てる
- 2 豊かな感性や探究心と論理的な思考力を基盤とした創造的知性を育てる
- 3 心身ともに健やかで、郷土愛と公共の精神に富む豊かな人間性を育てる

《表の見方について》

※1:実績欄の評価を表す数値(%)は、学校評価アンケートにおけるA(よく当てはまる)とB(当てはまる)の割合を合計した値。但し、評価目標に評価指標が示されている場合はその数値を記載。

I 高い志を持つ生徒を育てる		
目標と方策	数値目標	R02年度実績
<b>1 学習の深化・高度化を図り、知的好奇心を涵養し、自らを高めようとする心を育てる。(教務図書課)</b>		
(1) ICT機器を積極的に活用し、授業改善に努める。また、大学や企業との交流を通して、生徒の興味や意欲を喚起する教育環境を整えていく。 ・ 授業を大切に、授業を中心とした学習リズムを早期に確立させる。 ・ 授業第一主義を自覚させるとともに、授業以外でも教室が自学自習の場になるような雰囲気づくりを指導する。 ・ 学習方法及び学習計画を自ら検討、修正し自学自習する力を育てる。	【学校評価・生徒2】 「本校では、わかりやすく、進路志望達成に向けた授業がなされている。」の向上	1年：96.0% 2年：88.6% 3年：89.6%
	【学校評価・保護者5】 「子どもは目標をもって充実した学校生活を送っている。」の向上	1年：83.8% 2年：77.2% 3年：86.9%
<b>2 他へ貢献する機会を通して、自己を知り他者を尊重する態度を養う。(生徒課)</b>		
(1) リーダーとしての自覚を促し、生徒会および委員会活動の活性化を図るために生徒が主体的に行動する場を積極的に設ける。 ・ 学校のリーダーとして、模範となるような考え方や行動ができる資質を育てる。 (2) 委員会や広報活動を通じて、地域交流及びボランティア活動を一層推進する。 ・ 生徒会活動やボランティア活動等にも積極的に参加させ、コミュニケーション力や自己表現力の育成を図る。	委員会等の活動報告を毎月1度以上行う。	実施できていない。
	今年度のボランティアについては、生徒の安全に考慮しながら実施する。	今年度は新型コロナウイルスの状況もあり、ボランティアを生徒に勧めなかった。また、外部からもボランティア依頼が届いていない。
<b>3 キャリア教育の充実を図り、自ら進路を切り開く生徒を育成する。(進路学習課)</b>		
(1) 学習指導や進路指導およびSSH関係行事等の相互の関連を重視し充実させる。 (2) 教職員の共通理解のもと、足並みを揃えた指導に務める。 (3) 個人面談や集会、進路情報等を通じ、第一志望にこだわりを持たせ、進路達成のために主体的に学び続ける姿勢を育てる。	【学校評価・生徒6】「本校では、進路についての情報提供が適切に行われている」 【学校評価・保護者8】「進路に関する情報の提供は適切で分かりやすい」 【学校評価・保護者9】「進路に関するガイダンスや講演会、オープンキャンパスへの参加等が適切に行われている」 【学校評価・保護者10】「進路の目標達成に向けて一人一人にきめ細かい指導をしている」の向上	生徒6：87.0% 保護者8：69.9% 保護者9：75.7% 保護者10：68.6%
<b>4 協調学習の研究・実践を推進し、学習意欲の向上に導く。(研究課)</b>		
(1) 生徒の主体的な学びを支援するため、研究テーマを設定し教科会の充実を図りながら、授業研究をより一層深めていく。 (2) 協調学習等を通して互いに学びあう楽しさを実感させ、主体的に学習する態度を育成する。	【学校評価・教員4】「本校では、協調学習など生徒が主体的に学習する授業についての研究がなされている。」の向上	86.1%
<b>5 SSH事業を通し、知的好奇心を喚起し、自己の生き方在り方を考える態度を育てる。(研究課)</b>		
(1) SSH事業の充実に向けた取組を推進するとともに、大学・研究機関や企業との連携を図りながら、外部の研究会に参加できる生徒の育成を図る。 (2) ユネスコスクールの認定を受けて、学校間ネットワークを活かしながら持続可能な発展のための教育を推進する。	外部の研究会に参加した生徒が延べ80人以上。	71人
	【学校評価・教員15】「本校では、ESDの視点に基づいて授業が行われている。」の向上 【学校評価・生徒・教員・保護者18】「SSHの取り組みが本校の特色ある教育活動として成果をあげている」の向上	教員15：72.3% 生徒18：85.9% 教員18：83.3% 保護者18：83.6%
<b>6 健康・安全の意識向上を図り、自己管理能力を高める。(保健課)</b>		
(1) 健康観察簿等を利用して生徒の健康状況を把握し、保護者との連携を密にしながら生徒理解を進める。 ・ 保護者と連携しながら3点固定を励行し、健康的な学校生活を送れるよう指導する。 (2) 健康診断で治療の勧めのあった生徒に、早期治療に行く時間を確保する。 (3) 清掃点検・環境点検を実施しながら、生活環境・学習環境を自ら整備する意識を育てる。 ・ 日々の清掃活動を通して、協働することの大切さや公共物を大切にすることを養うと共に、学習環境の整備に努めさせる。	毎日の生徒の出席率を99%以上に維持する。	98.00%
	「精密検査・治療の勧め」に対する報告を70%以上にする。	41.7% (57.1%)
	【学校評価・保護者15】「教育施設等の環境整備がなされ、生徒の安全や健康に十分に配慮されている。」の向上	1年：97.1% 2年：95.1% 3年：92.9%
	【学校評価・生徒15】「私は、自律的な生活を送り、健康管理に努めて積極的に学校で活動することができた。」の向上 (92%以上)	1年：89.0% 2年：84.7% 3年：92.2%
	【学校評価・生徒16】「清掃活動にまじめに取り組み、学習環境を清潔に保つことができた。」の向上 (93%以上)	1年：97.1% 2年：94.6% 3年：98.8%
	【学校評価・教員16】「本校では、生徒の心身の健康・安全について十分留意・配慮しながら指導がなされている。」の向上 (93%以上)	94.4%
	【学校評価・教員17】「本校では、安全点検・環境点検を定期的に行うなど、環境整備が十分に行われている。」の向上 (95%以上)	100.0%

II 創造的知性を持つ生徒を育てる		
目標と方策	数値目標	R02年度実績
1 授業で生徒の主体的・協働的な学びを育てる。(教務図書課)		
(1) 主体的・協働的な学びを育成する授業を推進する。	【授業評価 7】「先生の授業には、お互いに学びあったり、協力して問題を解決したりする場面がありますか。」の向上	83.9%
	【学校評価・保護者 6】 「進路に応じたカリキュラム編成のもとに丁寧でわかりやすい授業をしている。」の向上	1年：90.1% 2年：76.0% 3年：78.8%
2 学習メディアセンターの利用により生徒の探究心を育てる。(教務図書課)		
(1) 学習メディアセンターの利用促進 ① 年次、教科、課と連携し、授業・LHR・受験指導での利用を推進する。 ② 新入生学習メディアセンターORTを実施し、利用についての指導をする。	【学校評価・生徒 12】「本校の図書館は利用しやすく、校内の学習センターとしての機能を適切に果たしている。」の向上	1年：79.2% 2年：75.3% 3年：79.2%
3 基礎学力を保証し、創造的知性を引き出す。(進路学習課)		
(1) 定期的に指導を評価して改善を図る。また、他教科の取組みも参考にしながらより効果的な指導法を模索し、共有しながら積み上げていく。	【学校評価・生徒 2】「本校では、わかりやすく、進路志望達成に向けた授業がなされている」 【学校評価・生徒 6】「本校では、学校生活全般にわたって適切な個別指導がなされている」の向上	生徒 2：91.7% 生徒 6：87.0%
	【学校評価・保護者 6】「進路に応じたカリキュラム編成のもとに丁寧にわかりやすい授業をしている」 【学校評価・保護者 7】「子どもの家での学習の取り組みは質量ともに十分なものである」の向上	保護者 6：82.3% 保護者 7：64.9%
4 進路達成に向けた学習指導の充実を図る。(進路学習課)		
(1) 東校立志会等を通して難関大志望者の意識の高揚を図り、また、集団としての厚みをもたせる。 (2) 難関大進学志望者への対応、さらには超難関大志望者への指導方針・計画の検討をすすめるためにも、教科研修の充実を図る。 (3) 3年次の進学指導については、指導時期・内容を踏まえながら全職員で当たる。 (4) 「学びの基礎診断」のツールとして認定を受けている各種模試や校内実力テストの実施後、振り返りの機会を確保する。	(1) 大学合格数の目標 ① 難関大学合格実人数 20 名以上 (東京大・京都大・国公立大医学部医学科の複数名合格を含む) ② 国公立大合格延べ人数 50%以上 (受験総数比、①を含む) (2) 共通テストの目標 ① 共通テスト総合型 (900点満点) の得点率 8割以上が 20 名以上 ② 共通テスト総合型 (900点満点) の全国平均点以上が 50%以上 (受験総数比、①を含む)	(1) 東北大合格 0 名 国公立大合格 49 名 (2) 大学入試センター試験 全国平均文系 552 点 理系 572 点 (データネット) 本校平均文系 506.3 点 理系 511.4 点
5 他者と協働しながら、自ら課題を見つけて解決に導き、学びの成果を正しく伝えるための表現力を身に付けさせる。(研究課)		
(1) 生徒が主体的に探究活動に取り組むことができるように未来創造プロジェクトの計画・運営を行う。	【学校評価・生徒 3】「本校では、授業や総合的な探究の時間などにおいて、生徒が主体的に探究活動に取り組むことができるように計画がなされている。」の向上 【学校評価・生徒・教員・保護者 19】「SSHの取り組みは生徒の探究活動に対する意欲や能力の向上に役立っている」の向上	生徒 3：95.0% 生徒 19：82.6% 教員 19：83.4% 保護者 19：82.2%
	総合的な探究の時間において、地域課題を取り上げるグループが 5 グループ以上。	6 グループ

Ⅲ 豊かな人間性を持つ生徒を育てる		
目標と方策	数値目標	R02年度実績
1 家庭・地域との連携に努め、教育活動の充実と生徒の健全育成を図る。(総務課)		
(1)感染防止に努めながら、PTA活動や行事等への保護者の出席率を高める。 (2)即時性に優れた緊急連絡体制を整備する。	各種会合や行事への保護者の出席率75%以上。	78.8%
	携帯メール連絡網の登録率75%以上。	87.8%
	【学校評価・保護者 16】「PTA活動は、負担感なく活発に行われている。」の向上	1年：87.3% 2年：82.2% 3年：84.8%
2 情報発信を密にした広報活動に努め、地域に開かれた学校づくりに寄与する。(総務課)		
(1)PTA会報や年次・学年だより等々の刊行物を利用して、他分掌との連携を図りながら、学校での指導を家庭・地域と共有できるようにする。 (2)ホームページ等々を活用して、外部へのタイムリーな情報発信を行う。特に、PTA講演会・公開授業・未来創造プロジェクト発表会・東桜祭は、保護者以外の地域住民を対象とした広報活動も行う。	【学校評価・保護者 1】「本校の基本理念や学校教育目標をわかりやすく伝えている。」の向上	1年：82.9% 2年：91.9% 3年：83.8%
	【学校評価・保護者 3】「授業公開、地域行事への参加、広報活動などを通して、開かれた学校づくりに努めている。」の向上	1年：77.9% 2年：76.4% 3年：75.7%
	【学校評価・保護者 4】「年次・学年だより、年次・学年コラム、PTA会報、進路関係情報誌などの刊行物やホームページを通して、学校の様子がよくわかる。」の向上	1年：80.3% 2年：78.0% 3年：78.8%
3 読書や探究活動を通じて、生徒の豊かな感性と人間性を育てる。(教務図書課)		
(1)図書委員会活動の促進 ①読書会等のイベントや広報紙「まど」等で読書を啓蒙する。 ②学習メディアセンターにテーマ別閲覧コーナーを設け、展示の工夫や装飾などで利用しやすい環境をつくる。	年間総読書数3,000冊以上を目指す。	3,707冊
4 高い倫理観を持ち、品性ある生徒を育む。(生徒課)		
(1)各年次団と連携し、教育相談体制の充実を図りながら、問題を抱えた生徒の早期発見と支援に努める。 ・挨拶や身だしなみなどの基本的な生活習慣を確立する。	【学校評価・生徒 10】「本校では、校内外の規則やマナー指導が適切に行われている。」の向上	1年：97.1% 2年：84.6% 3年：83.2%
5 自らを律しつつ、他と協調する意識を育成する。(生徒課)		
(1)いじめ問題について、LHRで最低1回以上取り組む。また、いじめアンケートを年2回実施し、いじめ防止と早期発見・早期解決を図る。 (2)生徒会で「思いやりの芽を育てる全校アクションプラン」を実施し、クラスごとにスローガンを交流ホールに掲示する。	【学校評価・生徒 14】「本校では、ホームルーム内のコミュニケーションが十分に行われている。」の向上	1年：94.7% 2年：80.0% 3年：83.8%
6 部活動を通じて、心身共に健康な生徒を育成する。(生徒課)		
(1)部活動方針に則り、部活動環境の充実に向けた整備を行う。 (2)部活動満足度調査を実施し、活動を客観的に評価する。 ・部活動に積極的に参加させ、心身共に逞しく成長できるよう支援する。	【学校評価・教員 8】「本校では、生徒が部活動に積極的に参加・活動している。」の向上	69.5%
	部活動満足度調査における満足度「大変＋ますます満足」の割合向上。	今後実施予定
7 生徒・保護者との相談活動を通して、問題を抱えた生徒の早期発見と支援に努める。(保健課)		
(1)ケース会議、SS委員会等で情報を共有し、多くの目で生徒理解に努め、組織的な対応を行っていく。 (2)教員特に保健課員のカウンセリングマインドを高め、相談しやすい雰囲気と環境を整える。 ・日々の健康観察や面談を通して生徒の健康把握に努めるとともに、保健課と連携しながら健康相談・教育相談を行う。	【学校評価・生徒 13】「本校は、生徒の心身両面にわたった配慮がなされ、不調時には十分な対応がなされている。」の向上(90%以上)	1年：91.9% 2年：80.0% 3年：83.2%
	【学校評価・保護者 14】「カウンセリングなどが利用しやすく、心のケアの体制も整えられている。」の向上(80%以上)	1年：74.6% 2年：72.2% 3年：70.7%
8 地域社会の人々との交流を推進し、コミュニケーション力を身に付けさせる。(研究課)		
(1)探究活動等を通じて、大学・研究機関や企業など地域社会の多様な人々とふれあう機会を増やす。	【学校評価・生徒 4】「私は、授業や探究活動など様々な教育活動を通して、大学や企業、地域など校外の方々との交流を積極的に行った。」の向上	1年 68.8% 2年 57.3% 3年 65.8%